



大谷・小鹿周辺地区まちづくり未来会議へ - 「自分たちでまちをつくる」の「自分たち」とは？ -

2025年3月25日 第11回大谷・小鹿地区まちづくり検討会議

静岡大学サステナビリティセンター特任准教授／NPO法人ESUNE代表理事 天野浩史

まちづくりの意味の曖昧さ

都市計画としてのまちづくり
＝ハード

コミュニティとしてのまちづくり
＝ソフト

大谷・小鹿地区におけるこれからのまちづくり

コミュニティとしてのまちづくり ＝ソフト

基本は「地域自治」にあり。
つまり、
自分たちのまちを、
自分たちで考え、
自分たちで担っていく。

では、自分たちとは誰か？住民？

「自分たち」とは誰なのか？

例えば、住民に「大学生」や「在住外国人」は入るのか？

「小学生」の意志は？昼間に会議に参加できない「働く世代」は？
声を届けられないケア当事者は？地域に根差した店・事業者は？

大字・町名	字・丁目名	総数	人口（男）	人口（女）	外国人人口	外国人人口 比率	世帯数	世帯あたり人 口	単独世帯数 （一人暮らし）	65歳以上 単独世帯	独居率	高齢者独 居率
駿河区							96295		38501	10127	40.0%	10.5%
大谷・小 鹿・片山		23372	12244	11128	640	2.7%	12525	1.87	7381	972	59.0%	7.3%
小鹿合計		14033	7366	6667	453	3.2%	7390	1.90	4290	645	58.1%	8.7%
小鹿		7356	4046	3310	219	3.0%	4124	1.78	2700	266	65.6%	6.5%
小鹿	一丁目	3198	1537	1661	69	2.2%	1473			183	45.2%	12.4%
小鹿	二丁目	1908	918	990	73	3.8%	950			135	46.6%	14.2%
小鹿	三丁目	1571	865	706	92	5.9%	843	1.86	483	61	57.4%	7.2%
片山		114	58	56	2	1.8%	56	2.04	29	6	51.8%	10.7%
大谷合計		9225	4820	4405	185	2.0%	5079	1.82	3062	266	60.3%	5.2%
大谷		6771	3601	3170	154	2.3%	4042	1.68	2710	197	67.1%	4.9%
大谷	一丁目	697	353	344	20	2.9%	329	2.20	103	18	33.4%	5.8%
大谷	二丁目	830	425	405	5	0.6%	32			18	37.3%	5.1%
大谷	三丁目	927	441	486	6	0.6%	375	2.47	117	33	31.2%	8.8%

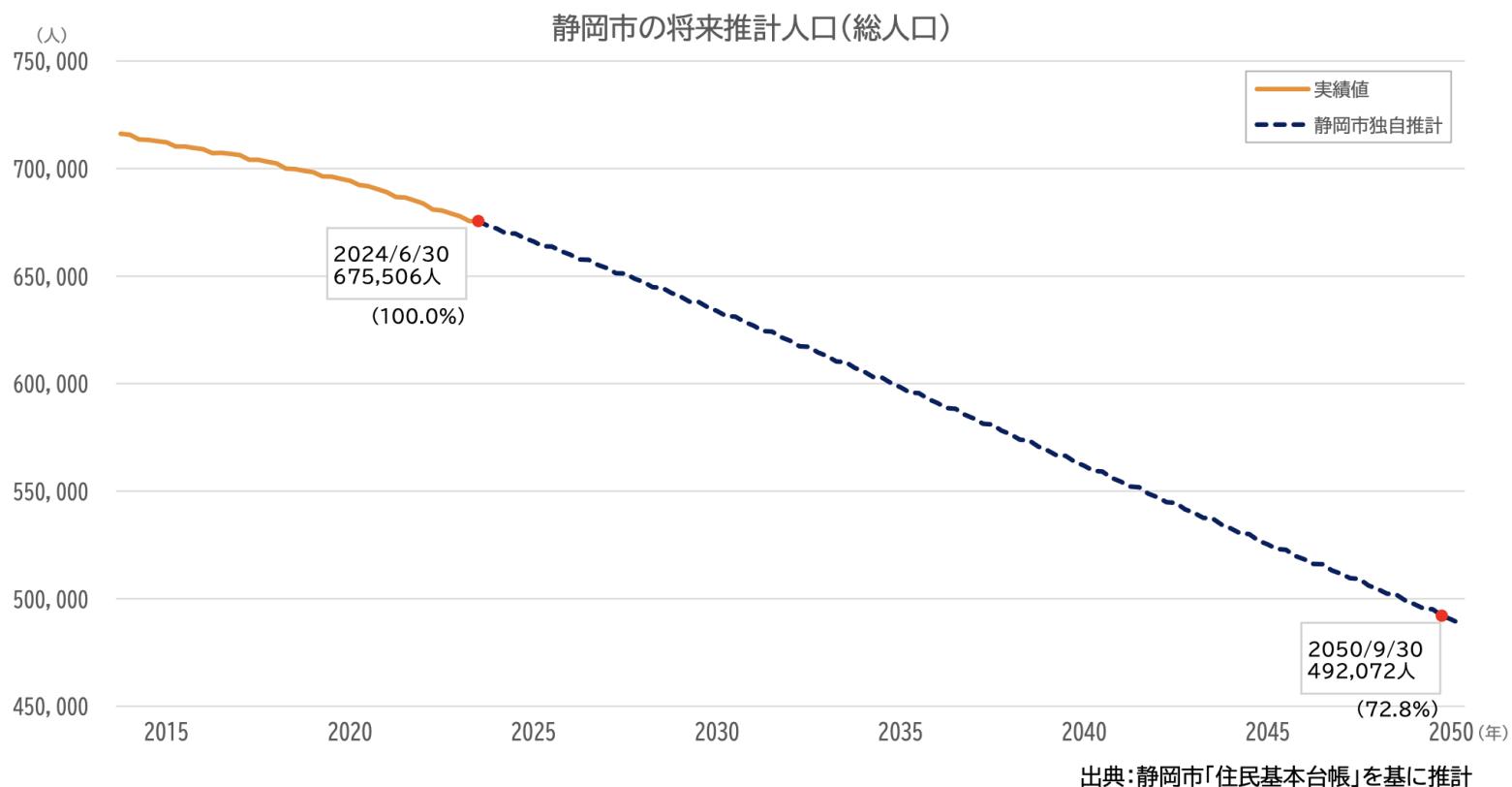
（小鹿）
高齢者独居率
平均以上

一人暮らし社会人
& 大学生が多い地域

住民主体のまちづくりを進化させていく時代へ

将来推計人口(総人口)

- 推計の結果、2050年9月末で約49万人となり、2024年6月末と比べ、27.2%の減少が見込まれる。
- 下図は、3か月ごとの人口を示している。

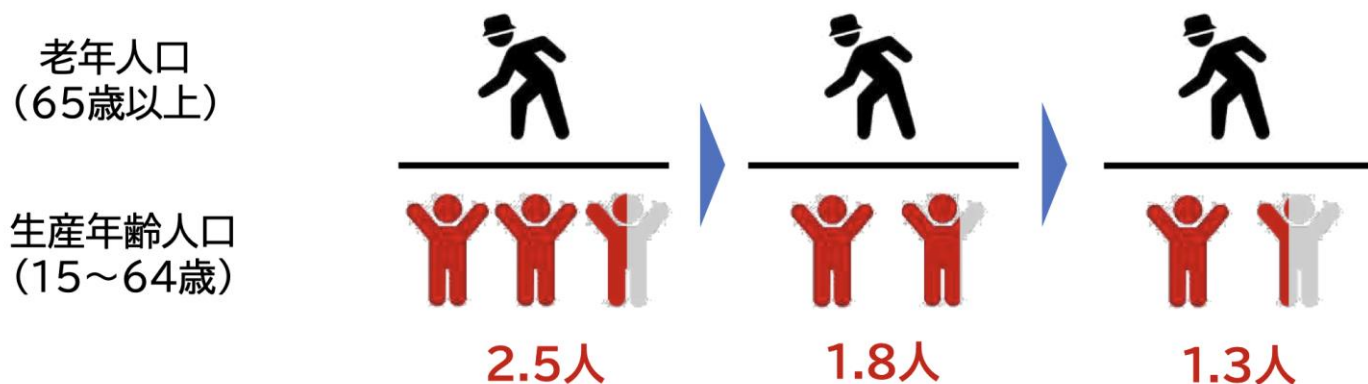


住民主体のまちづくりを進化させていく時代へ

年齢構成比の将来予測

- 「年少人口」「生産年齢人口」「老年人口」の割合をまとめた。2010年度末から2050年度末にかけ、生産年齢人口は男性が11.5%、女性が11.4%減少する一方で、老年人口は男性が15.9%、女性が15.1%増加する。
- 現役世代が高齢者を支える形は、「騎馬戦型」から「肩車型」に変容していく。現在の社会保障制度の見直しが求められる可能性がある。

人口割合	2010年度末(実績)		2030年度末(推計)		2050年度末(推計)	
	男	女	男	女	男	女
年少人口(15歳未満)	13.6%	12.2%	10.0%	9.0%	9.2%	8.6%
生産年齢人口(15～64歳)	64.8%	60.4%	61.0%	55.0%	53.3%	49.0%
老年人口(65歳以上)	21.6%	27.4%	29.0%	36.0%	37.5%	42.5%



出典：
実績値は静岡市「住民基本台帳」、
推計値は静岡市「住民基本台帳」を基に推計

住民主体のまちづくりを進化させていく時代へ

ゆるやかに減少している自治会加入率

【静岡市 自治会加入率の推移】

静岡市データより

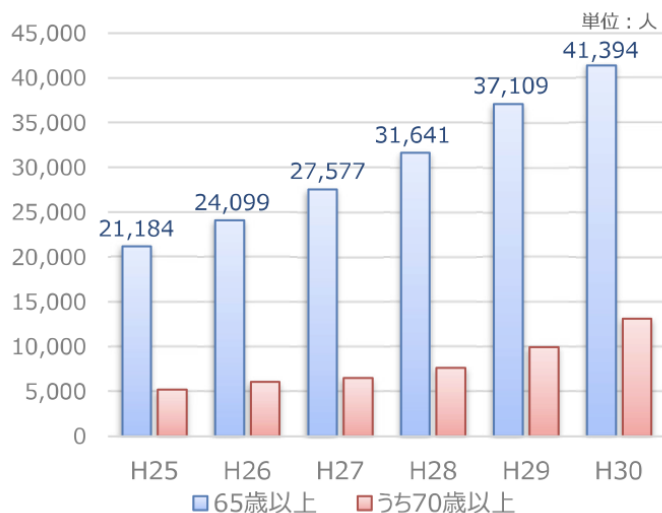
年度	H22	H24	H26	H28	H30
%	86.6	84.7	83.4	82.4	81.3
H22年との差		-1.9	-3.2	-4.2	-5.3

静岡市の自治会への加入率は、少しずつ下がっています。

要因②

65歳以上も元気に働きます

【65歳以上の労働者数】(31人規模以上の企業・静岡県)



平成30年「高齢者の雇用状況」集計結果から
厚生労働省静岡労働局発表（H30 11 19）

担い手不足はますます深刻化する予測

定年後に地域で活動を支えてくれる方が多いのですが、働き方の変化が、地域活動にも大きく影響してきそうです。

要因①

増える高齢者は75歳以上、65～74歳は大きく減ります

【静岡市高齢者数の予測】

単位：人	年	65歳以上	65～74歳	75歳以上
静岡市	2015年	201,348	103,638	97,710
	2030年	212,883	79,576	133,307
		+11,535	-24,062	+35,597

出典：国立社会保障・人口問題研究所による推計

65～74歳が減り
75歳以上へ移行する

静岡市・静岡市自治会連合会（2021）
静岡市前自治会・全連合自治会アンケート結果報告書より

住民主体のまちづくりを進化させていく時代へ

従来想定する「住民」だけでは、
地域の自治の維持が難しい。

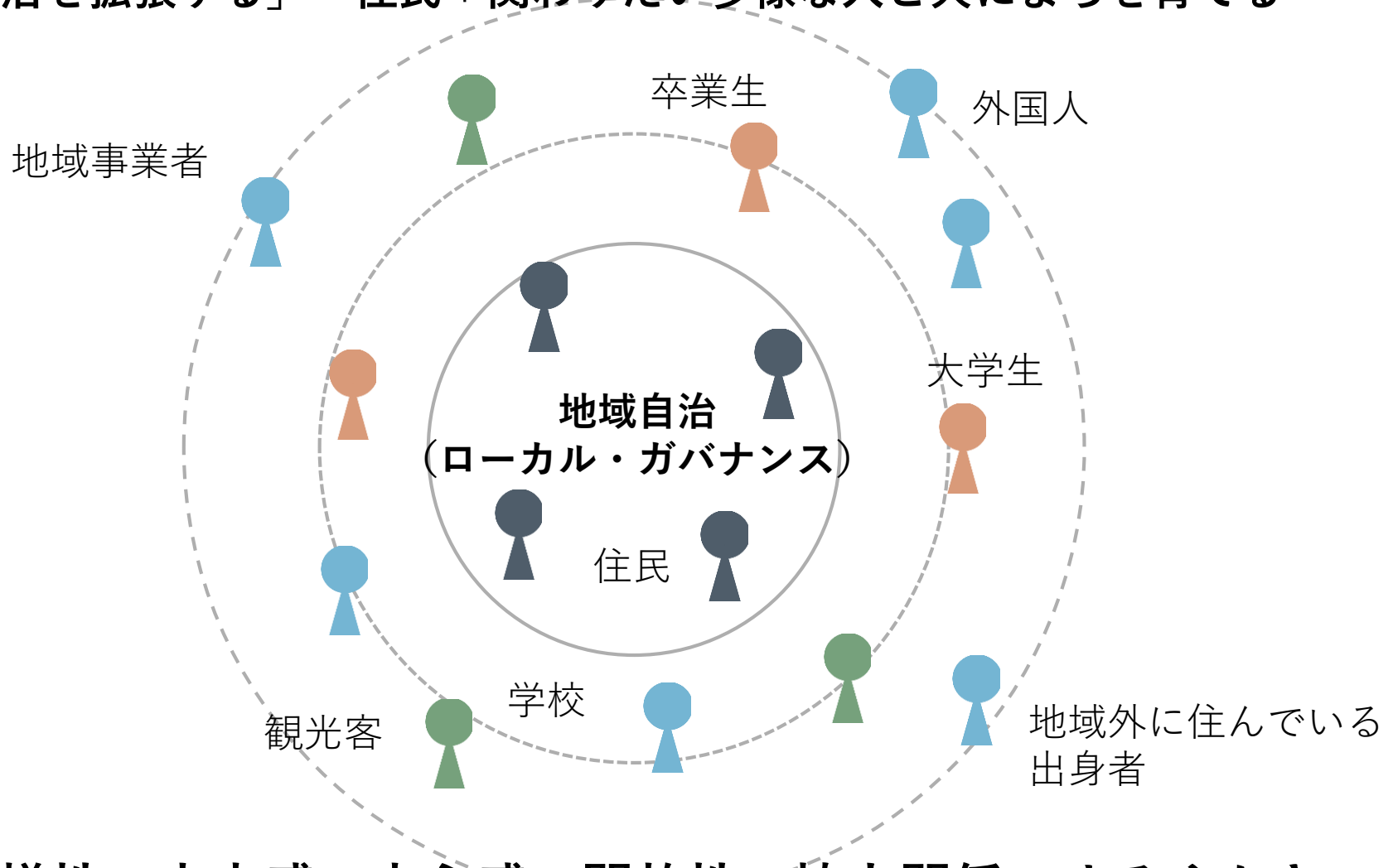


地域自治の衰退した地域は、おそらく

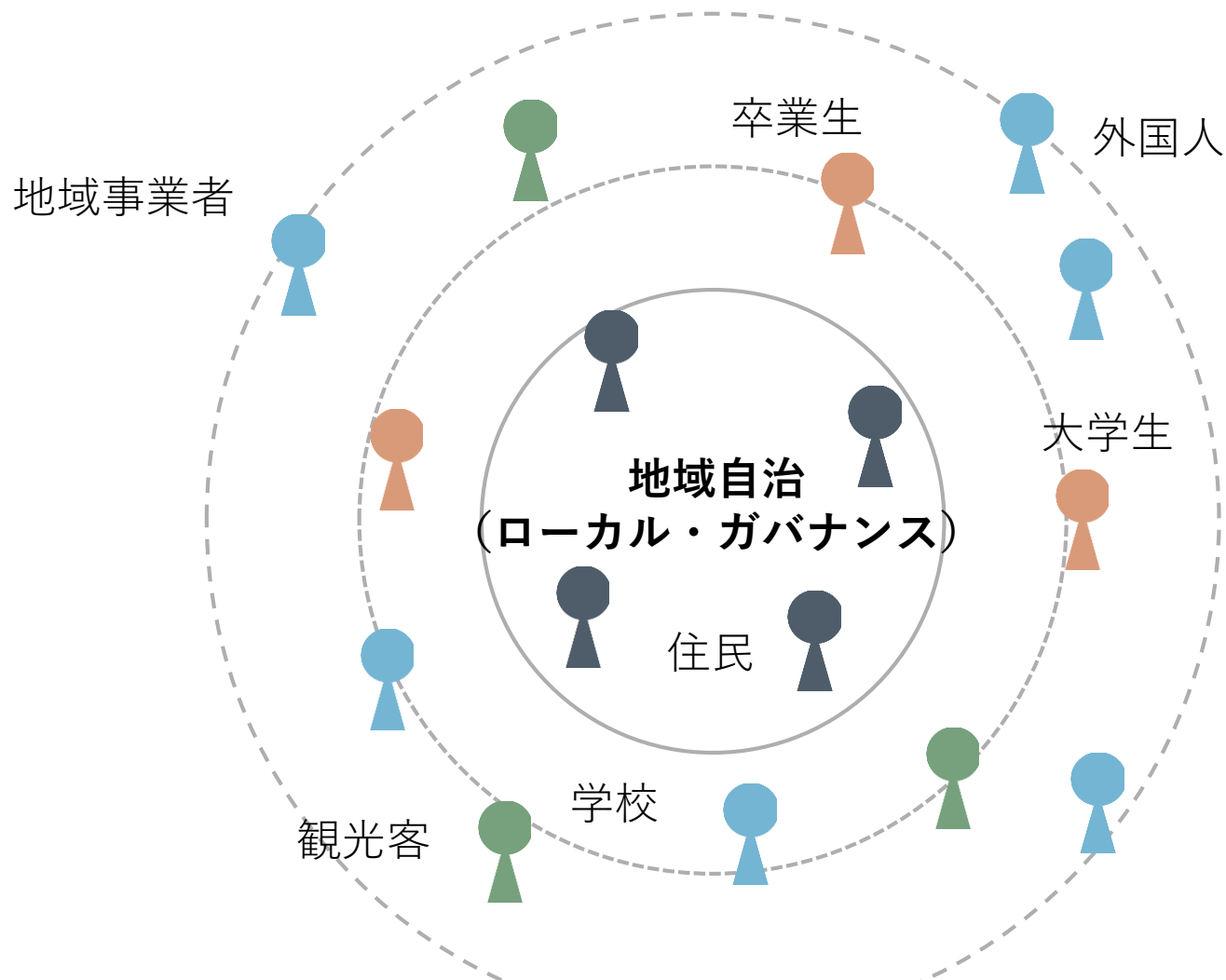
- ・ ご近所付き合いの希薄化が進む
- ・ 地域内の情報が見えづらくなる
- ・ 危機に対応できなくなる（共助の衰退）
- ・ 治安が悪くなる
- ・ 消費者的住民が増える
（限られた担い手による地域活動益を受けるのみ）
- ・ 望まない孤立が進む

住民主体のまちづくりを進化させていく時代へ

これまで積み重ねてきた「自治」を維持し、豊かにしていくには、
「自治を拡張する」＝住民＋関わりたい多様な人と共にまちを育てる



多様性・本来感・安心感・開放性・協力関係・ゆるやかさ



多様性・本来感・安心感・開放性・協力関係・ゆるやかさ

**これを「あの手この手で、試行錯誤しながら」つくるのが
大谷・小鹿周辺地区まちづくり未来会議？**

これまで
ビジョン策定

これから
10年後を見据えた
私たちのまちづくりの進化